

SSKU じりつせいかつ 自立生活センター CIL きかんし ふちゅう機関紙

# Sun-Sun News

## vol.31

2019年5月号



### もくじ 目次

ねんどしどう 2019年度始動！！	2
じりつ 自立へのキセキ	3
ねんど かつどうけいかく 2019年度 活動計画	4

ねんどしどう

# 2019年度始動！！

おかもと なおり 直樹



新年度に入りました。そして4月1日には、新たな元号「令和」が発表されました。私は介助者と共にフリスペのテレビの前で世紀の場面を清々しい気持ちで見守っていました。予定よりも10分くらい遅れての発表で、今か今かと待ちわびていました。小渕元総理の時と同様の発表で、全く予想をしていなかった漢字だったので少々戸惑いましたが、

徐々に「命令」されることにより「平和」にしていく？と思いついた意見を考えてしまいました。職業病でどうか？皆さんはどうな風に感じましたか？

何はともあれ新元号ということで気分晴れやかに新時代の幕開け、今年度のCILふちゅうはどんな年になるのやら…。



CILふちゅうでは、原稿を書いてくれる方を募集しています。

採用された方には謝礼が出るかも～。

## ●こんな記事を大募集●

- ・日々のあんなことやこんなこと
- ・おすすめのバリアフリースポット
- ・趣味のこと (川柳、俳句など)
- ・最近の福祉行政に物申したいこと
- ・最近起った珍事例、差別事例など
- ・告知 などなど

※詳しくは、CILふちゅうまで

# じりつ 『自立へのキセキ』

うちだ えりこ  
内田 恵理子

むね じもと そだんしえんせんもんいん つた うちだ あたま  
旨を地元の相談支援専門員へ伝えましたが「内田さんは頭が  
しっかりしているから区分6は難しいと思うよ」との回答で  
した。どんなに重度障害であっても、頭がしっかりしている  
限り区分6になることはないと断言されたかのようでとても  
にんていちょうさ ちょうさないよう じょうさいん かんごし ふざい  
ショックでした。そもそも認定調査の調査内容が、なぜ初回と  
こうしんじ ちがい ちょうさ ちょうさいん かんごし ふざい  
更新時とで違うのか。初回の調査では調査員も看護師も不在の  
うえ ちょうさ じっし なに きじゅん くぶん けっか  
上、調査シートもなく実施し、何を基準に区分4の結果とされた  
のか。自治体の対応には疑問や不信感を抱くばかりでした。

そだん う あと ちよくせつじ ちたい  
C I しふちゅうへ相談、アドバイスを受けた後、直接自治体  
かいじせいきゅう ふくも た こんがん さいちようさよ ふふく  
へ開示請求し不服申し立てを懇願。そして再調査及び不服の  
ようぼうしょ ていしゅつ けっか じちたい  
ための要望書を提出しました。その結果、自治体としては「不  
ふくも た さ かいじう さいちようさ  
不服申し立てを避けたい」との回答でした。それなら「再調査」  
いらい ないおう さいちようさ しょくじ  
をと依頼し、対応してくれました。再調査においては、食事、  
こうく はいせつ じゅうてんてき き と らいほう  
口腔ケア、排泄について重点的に聞き取りをしたいと来訪され  
ました。調査マニュアルを横に話しをする調査員に、握力も  
うて あ た あ で き じょうきょう すべ て か  
なく腕も上がらず、立ち上がりも出来ない状況で全て手を借り  
ようと用が足せないため、全介助である旨を伝えるも、マニ  
ユアルを確認しながら一部介助になると説明されました。しか  
し、一人では何も出来ないことがなぜ一部介助になるのか説  
くふく こうく はいせつ ぜんかいじょ しょくじ  
明続けると、口腔ケアと排泄は全介助となりましたが、食事は  
いちぶかいじょ ちょうさしゅうりょうご ぜんかい おな くぶん けっか  
一部介助のままでした。調査終了後、前回と同じ区分5の結果  
さいどかいじせきゅう むね つた かいじせきゅう ふふく  
であれば再度開示請求する旨を伝えると「開示請求して不服  
もう た はんじ はんじ い ないしん はんじ  
申し立てされても半年かかりますよ」と言われ、内心「半年!?」  
おも つきよ かま ひとこと  
と思いましたが、強気で「構わないです」と一言。ドキドキし  
ながら1ヶ月後、結果は区分6となりました。

じきゅううしゃじょう こうしん じんちゅう い ねん がつごろ  
受給者証の更新から順調に行けば、2018年11月頃には  
ひとりぐ よって ねん がつごろ  
一人暮らしの予定でした。しかし、C I しふちゅうから私の  
しんたいじょうきょう くぶん い はんしんはんぎ  
身体状況は区分6のレベルだと言われ、半信半疑でしたが、  
さいじゅうでき くぶん けっか まなしけん たいおう わる  
最終的にあっさり区分6となった結果に、山梨県の対応の悪  
さを痛感しました。今回の経験を通して、自分が無知であるこ  
とは自分のためにならない。自治体の担当者がすべて正しいと  
かぎ じぶん じちたい たんどうしゃ ただ  
は限らないからこそ、自身が情報や知識を取り入れないとい  
けないということを強く学びました。

じかん じもと てつづ お  
ここまで時間はかかりましたが、地元での手続きを終えて、  
どしあ そそう しんじゅうしょ じちたい こんご そだん ひつよう てつづ  
年明け早々に新住所となる自治体へ今後の相談と必要な手続  
こうきゅう じりつせいかつ はじ ひつこう てつづ  
きをし、東京での自立生活が始まりました。引越ししてから2  
かげつ た せいかつ で き かんぜん お  
ヶ月が経ちますが、まだ生活のリズムが出来ず完全に落ち着いて  
ないのに、いちにち はや せいかつ とどの  
一日も早く生活リズムが整うようにしたいと思います。

2019年2月末より、念願だった一人暮らし始まりました。  
長かった自立までの道を紹介します。

わたし じもと もやなし こうこう す とうきょう しんがく そつぎょううご  
私は、地元山梨で高校までを過ごし、東京へ進学、卒業後  
かいごじょく みち すす からだ うご こと す わたし  
は介護職の道へ進みました。体を動かす事が好きな私は  
がくじじだい ぶかくどう ゆうじん がいじゅつ  
学生時代、部活動やアウトドアスポーツ、友人と外出するなど  
かくどうとき みち すす からだ うご こと す わたし  
活動的でした。ここまで何の支障もなく生活してきましたが、  
ひある かた おば ひとこと  
ある日「歩き方がおかしいよ」という叔母の一言をきっかけに  
びようき はっかく しゃうかん けんさにゅういん びょうめい えん いがた  
病気が発覚しました。2週間の検査入院で、病名(遠位型ミ  
オパチー:希少疾病、筋疾患)を宣告されましたが、そこから  
すうねん じぶん たにんごと おも すう  
数年は自分のことではなく他人事のように思っていました。数  
ねんち つえ ひつよう じょじょ びょうき しんこう じっかん  
年経ち、杖が必要となり徐々に病気が進行しているのだと実感  
こころ びょうき じじつ う と  
した頃から、病気である事実を受け止め「なってしまったもの  
しかた おも せんこくご びょうき ない  
は仕方ない」と思いましたが、宣告後から病気に対してネガティ  
ブになることはありませんでした。

それから約13年は事務職に就きましたが、車の運転が難  
しくなり退職。その後、母親の運転で外出したり、自宅での  
せいかつ りょうしん て か ふ  
生活においては両親の手を借りることが増えたりしたことから、  
じりつ かが  
自立を考えるようになりました。

わたし じりつ  
私の自立へのきっかけは、両親の高齢に伴うものでした。  
かこ ひとりぐ けいけん  
過去に一人暮らしの経験はあるので大きい不安はありません  
しましたが、障害を持つての一人暮らしは初めてなのでどんな  
かん おも  
感じなのかという思いはありました。

さのぼ ねんまえ ねん がつごろ じりつそだん つきいち  
遡ること2年前(2017年3月頃)に自立相談、月一でILP  
じっし いただ  
を実施して頂きました。ILPでは、自立に向けた制度や  
かいじょしゃ むあ かたどう し じょうほう し  
介助者との向き合い方等、知りえなかった情報を知ることが  
で きよよ じかん しゃくはくはく  
出来て良かったです。ヘルパーさんを24時間つけての宿泊  
たいけん きんちゅう き も  
体験においては、緊張とワクワクの気持ちでした。あつという  
ま すうじつかん ひとりぐ  
間の数日間でしたが、一人暮らしにおけるなんとなくのイメー  
じが出来たこと、また貴重な体験が出来たことに感謝です。

ひっこ はんとしまえ ねん がつごろ じゅきゅうしゃじょう こうしん ともな  
引っ越しの半年前(2018年8月頃)に受給者証の更新に伴う  
にんていちょうさ おこな こうしんてつづ えんかつ すす  
認定調査が行われました。更新手続きは円滑に進むであろう  
おも うま すす  
と思っていましたが、そう上手くは進みませんでした。2017年  
はじ おこ にんていちょうさ そだんしえんせんもんいん ほともん  
に初めて行われた認定調査は、相談支援専門員の訪問による聞  
き取りのみで、結果は区分4でした。しかし、更新の際には調  
さいん かんごし そだんしえんせんもんいん めい ちようさ もち  
査員と看護師、相談支援専門員の3名と調査シートを用いて聞  
き取りが実施されました。初回の認定調査と比べ身体状況は  
でいか せいかくどうさ じょかい にんていちょうさ くら しんたいじょうきょう  
低下し、生活動作すべてにおいて手を借りなければならない  
じょうたい けっか くぶん ひとり なに で き じょうきょう  
状態でしたが、結果は区分5。一人では出来ない状況下  
けっか がくぜん けっか ない なつとく  
でのこの結果には愕然としました。結果に対し納得がいかない

ねんど かつどうけいかく  
**2019年度 活動計画**

定例会(月1回:第3水曜 午後)

4月 桜祭り 桜を見ながら会員と交流

6月 ピアカウンセリング ピアカウンセリングの初期プログラム

7月 花火大会 府中花火大会に会員と参加

8月 ビアパーティー お酒を飲みながら会員と交流

9月 長期ILP(11月まで) 自立生活プログラム(全10回程度)

12月 忘年会 一年の労をねぎらい会員と交流

1月 新年会 新年を祝い会員と交流

2月 役員会 次年度活動計画の検討

3月 総会 一年の反省と活動計画の承認

へんしゅうこうき  
**編集後記**

- 5月の末に松山に行きます。介助は、19歳の俳優の卵×懐かしの筋肉マンという奇跡のパーティー。無事に行けるかな?(な)
- 上京して丸18年。『平成』の半分以上を過ごしてきたと思うと感慨深い。気がかりは地元にいる両親…。自分の介助者の確保もままならないのに、親の介護も気になる…そんな令和の始まり(笑)(ち)
- 私も新元号「令和」という言葉に初めは命令の令を思い浮かべ違和感を感じました。しかし新たな時代に「和」を重んじる社会になってほしいと思います。(ひ)
- 時が経つのが早すぎて困る。(ま)
- 自宅で仕事できプライベートも楽しめるようなパソコンを見つけて導入したいと思っています。(^\_^)(木本)
- 平成が終わり令和という新時代が幕を開けた。礼を重んじる社会になってくれとただただ願う。(大高)
- 『日々の東京生活!雑貨屋巡りして、面白かわいい店見つけたいな』(内田)

へんしゅうちょう おかもと なおき  
**編集長:岡本 直樹**

へんしゅういん おかもと ちはる ながやま ひろし まえだ ひろし きもと じゅんや おおたか ねが おおたか  
**編集員:岡本 千春・長山 弘・前田 裕司・木本 淳也・大高 勇樹・内田 恵理子**

へんしゅうしゃ じりつせいかつ  
**編集者:自立生活センター C I しふちゅう**

〒183-0055 東京都府中市府中町2-20-13 丸善マンション1F

TEL: 042-314-2735 FAX: 042-314-2736

E-Mail: office2735@cifuchu.com

URL: <http://www.tt.rim.or.jp/~cifuchu>